

ジョギングクラブ報告

2017年12月3日
昭和49年卒 國友美信

●10月15日(日)四万十川ウルトラマラソン_100km

前夜祭から民宿への帰りに歩きスマホで溝に落下し左脛辺りを強打。ホント馬鹿です。

午前5時半、スタート。雨なので、恒例の陣太鼓やかかり火もない中でのスタート。

いつも感じる四万十川スタート時の高揚感はほとんどない。

夜明け前なのに、気持ちは既にたそがれていました。

最初の21km地点にある標高650mの堂が森の峠を低体温症気味で通過。

テンションは上がらないまま。

75kmあたりで前方に車道を横隊で走っているグループを発見。

ウルトラマラソンは通常交通規制をしないので、歩道があるところは車道を走ってはいけません。

「ダメじゃん」と思いながら近づくと、その訳が分かりました。

ブラインドランナーでした。若い女性。伴走者は70才代らしきのオジサンとレスキューセットを担いだ女性看護師。

歩道のコンディションは悪く、ブラインドランナーが走るには危険です。車道を走るのは致し方ないでしょう。

そのうちブラインドランナーが何かの拍子で転倒して、その場で座り込んで泣き出してたが見えました。

追い付いた時に看護師さんが、「どこも打ってないよ。擦りむいているだけ」

伴走の小父さんが、「あと1分だけ泣きなさい。だれだって同じ時間しか持ってないから」

集団を追い抜き、10秒ほどして振り返ると、すでに立ち上がって涙を腕で拭っている姿が見えました。



四万十川 半家の沈下橋

ウルトラマラソンへの理解は、健常者に対しても低い。関西玉翠会でも、「変態！近寄らないで、声をかけないで、できれば見るのもやめて」と思われているはずです。それがハンディキャップの人だともっと大変なはず。「危険だよ」「体を壊すよ」「なんの意味があるの?」「主催者に迷惑をかけるよ」

●11月5日 あいの土山マラソン(フル)

関西で一番アップダウンの激しいコース

●11月26日 大阪マラソン(フル)

今回から11月開催になりました。御堂筋の紅葉が綺麗
ランナー3万2千人(抽選倍率5倍)
なぜか抽選免除の出場権があるので出場。

27km地点から30km地点ずっと後ろに間寛平ちゃんが！
左はスマホを取出し、振り向いてのショット



大坂 迫ってくる寛平ちゃん